

山行報告 丹沢 ヤビツ峠～三ノ塔

【日 時】5月28日(土)

【メンバー】CL吉瀬 柘植(アドバイザー) 立野(記録)

【山行ルート】ヤビツ峠9:50 → 11:30 二ノ塔 → 12:10 三ノ塔 → 三ノ塔尾根 → 14:40 大倉

【内 容】早朝千葉駅発の快速に乗り、丹沢に向けて出発!

途中新宿乗り換えに苦戦するも無事予定通り8時過ぎに秦野に着き、バス乗り場へ急ぐ私たちの目に飛び込んできたのはヤビツ峠行きバス待ち人の長蛇の列でした。丹沢人気にビックリしつつ、山行の時間に余裕があったのでバスを2本見送り、9時半過ぎにヤビツ峠バス停に到着。腹ごしらえと準備体操を行った後さあ出発、と思ったのですが三ノ塔への登山口が分かりません。おかしい、登山口が複数あるけど三ノ塔に続く道はどこなんだ? と、よく案内板を見るとバス停から道路を1.5キロ程下った所が三ノ塔への登山口。何だ、バス停降りたらすぐ登山口と思ってた〜と道発見に安堵し、まずは車道を下ることから山行が始まりました。



ヤビツ峠でこれから出発



富士見橋の登山口付近

アスファルトの道1.5キロは長そうだなと思っていましたが、道路傍に咲いている野生の藤を見たり山菜山行の素晴らしさについて伺ったり、今日のメンバー構成は親子山行だねなどと色々な話をしていたら、あっという間に登山口に到着していました。登山口の矢印にはちゃんと三ノ塔の文字が見えています。写真を撮っていざ出発! 私は普段からの運動不足な上かなり久しぶりの山行だったので、ばてて迷惑かけたらどうしようと内心かなり不安でした。でもそんな私に二ノ塔、三ノ塔までの道は優しかった。



久しぶりの山行に華ちゃんのテンション高まる



二ノ塔の山頂

ハードのハの字も見当たらない緩やかな登りを続けること約1時間半、途中自然の木と植林の杉が左右の斜面に対象で生えている様を眺めたり、二ノ塔付近の拓けた所で大山がドーンとお目見えしたり、吉瀬さんが以前山で食べたというヤマツツジの花びらを食べて癖になる酸っぱさを味わったりと見所ありのまったり山行を楽しんでいたら、あっという間に二ノ塔に着いていました。歩きやすく整備されたなだらかな登山道に加え柘植さんの絶妙な登り速度のお陰で、ノンストップのお喋りを楽しみながら疲れ知らずで登り切ることができました。目指す三ノ塔を眺めながら吉瀬さんが用意して下さった冷凍パインを食べて一休み。

くうー！冷たくて美味しいパイんで疲労回復後、三ノ塔へ。

出発してすぐ、遠くでパラグライダーが風に乗って上昇するのを眺める道草をしたり、所々設置してある短い木製階段に登り辛さを感じながら30分くらいで三ノ塔に到着。薄曇りだったので景色は諦めていたのですが、昼食休憩中一瞬雲が切れて雪を冠った富士山の頭が見られたので嬉しかったです。柘植さんが用意して下さった美味しいゼリーと林檎をいただき、また疲労回復！



三ノ塔の山頂（背後に大山が見えてるが・・・）

ハングライダーとパラグライダーが空を舞う

休憩後、大倉に向けて一気に尾根を下ります。道は特に急な下りもなく至って緩やかでしたが全員気を引き締めつつ、やっぱりお喋りは止まりません。登山道に張り出す枝に注意しながら約1時間ほど下ると、段々下界の音が聞こえて来るようになり、素晴らしい森林浴の時間もお別れとなりました。大倉バス停までのラスト部分は地味に足にくるアスファルト道。30分程下って疲労感を覚えた頃に立派な吊り橋が見えてきてテンションが上がりました。橋の装飾や下に広がる河原や公園などの景色を楽しみながら渡り終え、ゴールの大倉バス停に到着。



三ノ塔尾根ののどかな下り



風の吊橋が見えてくれば大倉に到着

最後のヒルチェックも無事クリアで一同ホッとしましたが、私は少し心残りがありました。気持ち悪いと評判のヒルを見てみたかった。いや、でもいたら大変なことだしこれで良かったのだとバスに揺られる私の耳に地元の方の「山ヒルよ！」という緊迫した声が飛び込んできました。どうやら後ろに立っていた登山者のズボンに付いてきたようで、野次馬根性丸出しで覗き見ると、ヒルがよっこらよっこらズボンを這い上がっているところでした。これが噂のヒルなんだ！！尺取り虫みたいで動きは可愛いのになぁ。と実物を見られて嬉しい私。吉瀬さんが取り出した塩袋にヒルが葬られ、騒動は終わりました。最後は駅で下山後の乾杯をして楽しい1日を締めくくり、千葉への帰路につきました。久しぶりにのんびり山歩きを楽しめて嬉しかったです。ご一緒して下さった柘植さん、吉瀬さんありがとうございました！

(記:立野華子)



二ノ塔から三ノ塔を望む



三ノ塔尾根